

2022 年度 (対象: 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学部
--------	-----

基準1	理念・目的
-----	-------

総評	
0101	学部・学科の教育研究上の目的および育成すべき技術者像は大学・工学部ホームページ、学生便覧、工学部履修ガイドブックに、「あてになる技術者の育成」と定められており、その内容は大学の基本理念、使命、教育目的を反映している[0101a] [0101b] [0101c p. ②] [0101d pp. 1-7]。
0101	自己点検として毎年、学部・学科の教育研究上の目的および育成すべき技術者像の内容に関する検証、見直しを各学科会議にて実施している[0102a]。なお、[0102a]の根拠資料が現部署保管であったため、その内容を確認できる追加資料を求めたところ、多くの根拠資料を追加してもらうことができた[0101e] [0101f] [0101g] [0101h] [0101i] [0101j]。これらの資料から、工学部内では理念・使命・教育目的等の周知・公表に関してPDCA サイクルを機能させることができていることが確認できた。
0102	工学部履修ガイドブックを作成・配布する取り組みは工学部独自の取り組みであり、工学部の長所といえる[0101d pp. 1-7]。
長所・特色	
0101	学部・学科の教育研究上の目的および育成すべき技術者像は大学・工学部ホームページ、学生便覧、工学部履修ガイドブックに、「あてになる技術者の育成」と定められており、その内容は大学の基本理念、使命、教育目的を反映している[0101a] [0101b] [0101c p. ②] [0101d pp. 1-7]。
0101	自己点検として毎年、学生便覧、工学部履修ガイドブック等の内容に関する検証、見直しを各学科会議にて実施している[0102a]。
0102	工学部履修ガイドブックを作成・配布する取り組みは工学部独自の取り組みであり、工学部の長所といえる[0101d pp. 1-7]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし	

根拠資料No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目No.	記号		
0101	e	2020 年度第 10 回都市建設工学科学科会議議事メモ	○
0101	f	建築学科便覧およびガイドブックのメール審議	○
0101	g	2019 年度第 7 回情報工学科学科会議議事録	○
0101	h	2021 年度電気電子システム工学科学科会議議事録	○
0101	i	2021 年度第 8 回宇宙航空理工学科学科教室会議議事録案	○
0101	j	2022 年度 学生便覧、工学部履修ガイドブック 校正一覧 (EU)	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会（第1部会）

2022 年度（対象：2019-2021 年度）ピアレビュー報告書（案）

評価対象組織	工学部
--------	-----

基準 2	内部質保証
------	-------

総評	
0203	学内の自己点検・評価活動に加え、「外部評価委員会」、「アドバイザーボード会議」などの外部評価、そして非常勤講師との懇談会、卒業生・就職先企業へのアンケート等を通じて、内部質保証システムを構築するとともに、教育改善システムに反映している[0203d] [0203e] [0203f] [0203g]。
0203	現状説明の部分の1番目に記されている「工学研究科・専攻」や「各専攻内」という記述はそれぞれ「学部・学科」と「各学科内」の間違いではないかと指摘したところ、誤記入であることが確認された。ゆえに、提案通りの記述に修正することとなった。
長所・特色	
0203	学内の自己点検・評価活動に加え、「外部評価委員会」、「アドバイザーボード会議」などの外部評価、そして非常勤講師との懇談会、卒業生・就職先企業へのアンケート等を通じて、内部質保証システムを構築するとともに、教育改善システムに反映している[0203d] [0203e] [0203f] [0203g]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0203	m	2022 年度 EA 新入生学科オリエンテーション	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学部
--------	-----

基準 4	教育課程・学習成果 (1)
------	---------------

総評	
0401	学部の卒業認定・学位授与に関する基本方針、養成する人材像 (DP) を、各学科会議で検討し、教授会において学部内調整を行って定めており、HP で公表している [0401a] [0101b]。
0402	学部の教育課程の編成・実施方針 (CP) を、各学科会議で検討し、教授会において学部内調整を行って定めており、HP で公表している [0401a] [0101b] [0101c] [0101d]。
0403	科目間の関連や科目内容の難易度を表現するナンバリングを行うとともにカリキュラムマップによってカリキュラムの体系を明確にしている [0403a] [0403b]。スタートアップセミナーにおける少人数制ゼミ形式の実施や ICT 教育の導入など独自教育が展開されている [0403c] [0403f] [0403g] [0403h]。学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成するために、資格の取得を奨励している [0101c pp. 61-65]。 以上のことから、DP 及び CP を適切に定め、公表されているとともに、CP に基づき当該学位課程にふさわしい教育課程を体系的に編成・実施していると判断できる。
長所・特色	
0403	教育理念及び教育目標と卒業要件・教育課程の関連性等を学部独自の工学部履修ガイドブックに明記し、在学生に開示している [0101d]。
0403	3 つの学科において外部評価 (JABEE) 審査を受審しており、自己点検・評価が適切であることが確認できる体制をとっている [0203h] [0203i] [0203j] [0203k]。
0403	高大接続を配慮した教育課程を展開し、初年次教育は少人数ゼミ形式の実施や ICT 教育の実施など、1 年次教育に配慮されている [0403c] [0403f] [0403g] [0403h]。
0403	社会的・職業的自立を目指すために資格取得を奨励し、一部の学科では資格取得を支援する科目群を用意している [0101c pp. 61-65]。
留意点	
	*各項目に留意点レベルを記入
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
0403	自己点検・評価にあるように、DP・CP に即した教育課程であるかについて定期的に点検する体制の整備が望まれる。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0403	f	メールによる回答 少人数制、ICT 教育について	○
0403	g	2021 スタートアップセミナー予定表 (第 3 版) EK	○
0403	h	EL スタートアップセミナー 2022 日程表 20210917	○
0403	i	学習・教育到達目標達成度確認票 (EC)	○

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学部
--------	-----

基準 4	教育課程・学習成果 (2)
------	---------------

総評	
0404	シラバスは各学科教員による第三者点検を実施しており、DP、CP 等に即しているか判断して不備がある場合は修正を求めている [0404b]。また、学部 FD 委員会において「学生による授業評価」の結果を基に、シラバスと授業内容の整合性について点検が行われている [0404c]。 学生の主体的参加を促す授業方法の構築に取り組んでいる [0404f] [0404g]。
0405	卒業要件は明確に規定されておりホームページと学生便覧で公開されている [0101c]。学位論文審査は卒業研究のシラバスに明示され、卒業論文の審査基準も明確に規定され、教授会の審議によって卒業認定がされている [0405c] [0405d] [0405e] [0405f] [0405g]。 ヒアリングにより、卒業研究における評価項目、達成度レベル等の明確化について[0405e]、すべての学科でルーブリック等での審査基準の明確化を 2022 年度中に講じる予定であることを確認した。 以上のことから、学習を活性化し効果的に教育を行うための措置が講じられており、成績評価及び単位認定、学位授与を適切に行うための措置が講じられていると判断できる。
長所・特色	
0404	学部 FD 委員会において、「学生による授業評価」の結果を基に各学科においてシラバスと授業内容の整合性について点検が行われている [0404c]。
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学部
--------	-----

基準 5	学生の受け入れ
------	---------

総評	
<p>0501 推薦入試の学力レベルを保持するための方策の検討が望まれる。</p> <p>0502 入学者受入れの方針 (AP) と入試形態の整合性、教育課程の編成・実施の方針 (CP) と学生募集方法、入学者選抜方法の連関を明確にする改善が望まれる [0502a] [0502b]。</p> <p>0502 「入学希望者への合理的な配慮」について記載がなかったが、ヒヤリングにて説明を求め、個別で適切に対処していることを確認できた。</p> <p>0503 定員設定を行い、定員管理がなされているが、収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応には改善すべき点が残されており、検討が望まれる [0502b]。女子学生比向上に向けた取り組みについては、ヒヤリングにて確認し、新たに設置する理工学部入試での女子枠の設置など、具体的な案について確認できた。</p> <p>0504 推薦入学者等に対し、入学前情報提供と称して入学前教育を行っている。さらに、提出物に対して教員コメントを付し、入学予定者へのフィードバックを 3 回行っている [0502c] [0502d]。</p> <p>0504 推薦入試において、AP に基づく人材確保のための選考基準の見直しを実施している。数学のフレッシュマンテストにおいて入試種別ごとの得点分布を検証し、学生募集戦略、選考基準の見直しに反映している [0504b]。</p>	
長所・特色	
<p>0504 推薦入学者等に対し、入学前情報提供と称して入学前教育を行っている。さらに、提出物に対して教員コメントを付し、入学予定者へのフィードバックを 3 回行っている [0502c] [0502d]。</p> <p>0504 推薦入試において、AP に基づく人材確保のための選考基準の見直しを実施している。数学のフレッシュマンテストにおいて入試種別ごとの得点分布を検証し、学生募集戦略、選考基準の見直しに反映している [0504b]。</p>	
留意点	
<p>*各項目に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: center;">【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p>	
<p>0501 推薦入試の学力レベルを保持するための方策の検討が望まれる。【B】</p> <p>0502 入学者受入れの方針 (AP) と入試形態の整合性、教育課程の編成・実施の方針 (CP) と学生募集方法、入学者選抜方法の連関を明確にする改善が望まれる [0502a] [0502b]。【B】</p> <p>0503 定員設定を行い、定員管理がなされているが、収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応には改善すべき点が残されており、検討が望まれる [0502b]。【B】</p>	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学部
--------	-----

基準 6	教員・教員組織
------	---------

総評	
0602	JABEE に対応した点検評価が行われており、その中で、教員組織の適切性についての自己点検・評価も行われている [0203d]。
0603	昇格に関する評価基準を、研究業績、教育業績等に関してポイント化し明確にしている [0603b]。
0604	2021 年度応用化学科・応用化学専攻 FD 講演会では、「創成実習の新しい取り組み」と題した講演会を実施し、コロナ禍において企業に出向く実習が難しい状況下で、学内実習と企業における議論のハイブリッド方式の有用性について理解を深め、情報共有している [0604c]。
長所・特色	
0602	JABEE に対応した点検評価が行われており、その中で、教員組織の適切性についての自己点検・評価も行われている [0203d]。
0603	昇格に関する評価基準を、研究業績、教育業績等に関してポイント化し明確にしている [0603b]。
0604	2021 年度応用化学科・応用化学専攻 FD 講演会では、「創成実習の新しい取り組み」と題した講演会を実施し、コロナ禍において企業に出向く実習が難しい状況下で、学内実習と企業における議論のハイブリッド方式の有用性について理解を深め、情報共有している [0604c]。
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学部
--------	-----

基準 8	教育研究等環境
------	---------

総評	
0802	教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実については、中長期予算票および学部等重点計画案を策定し、学長ヒアリングを受け、施設・設備の充実に向けた検討と設備更新を依頼している [0802a][0802b]。
0802	実際の予算配分状況により既存施設の点検に基づく老朽化施設、設備の計画的な更新が十分にされておらず、改善が求められる。
0806	応用化学科 (EK)においては安全管理委員会、卒業時のアンケートにより、改善・向上に取り組もうとしている[0203b] [0406i] [0806a] [0806b]。
0806	学科授業科目のコロナ対応に関しては、講義形態に応じた感染対策を各学科会議にて行っている[0102a]。
0806	教育研究等環境に関して、外部評価委員による評価、学部内の安全管理委員会、非常勤講師懇談会、卒業時アンケートなどにに基づき、適切に自己点検・評価を実施し、適切に改善・向上に取り組もうとしているが、実際の予算配分状況により、改善すべき余地がある。
長所・特色	
0802	教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実については、中長期予算票および学部等重点計画案を策定し、学長ヒアリングを受け、施設・設備の充実に向けた検討と設備更新を依頼している [0802a][0802b]。
0806	応用化学科 (EK)においては安全管理委員会、卒業時のアンケートにより、改善・向上に取り組もうとしている[0203b] [0406i] [0806a] [0806b]。
0806	学科授業科目のコロナ対応に関しては、講義形態に応じた感染対策を各学科会議にて行っている[0102a]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項	
0802	実際の予算配分状況により既存施設の点検に基づく老朽化施設、設備の計画的な更新が十分にされておらず、改善が求められる。【B】
0806	教育研究等環境に関して、外部評価委員による評価、学部内の安全管理委員会、非常勤講師懇談会、卒業時アンケートなどにに基づき、適切に自己点検・評価を実施し、適切に改善・向上に取り組もうとしているが、実際の予算配分状況により、改善すべき余地がある。【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学部
--------	-----

基準 9	社会連携・社会貢献
------	-----------

総評	
<p>0902 積極的な学会活動、企業や研究所との共同研究、学外組織とのイベント共催を通じて、社会連携・社会貢献が十分になされている[0902a][0902b]。</p> <p>0902 CU-Robocon を WRO Japan 公式予選会として毎年開くことで地域貢献をしている[0902h]。</p> <p>0902 COC+事業、出前講義、小学生向け「ジュニアセミナー」、併設校への学生派遣など、学部の特性を生かした地域交流を活発に行っている[0902c][0902d][0902e][0902f][0902g][0902h][0902i][0902j]。</p> <p>0902 現在の航空機製造の現場を担う社会人に向けた「航空機産業製造人材育成講座」を開催し、地域に貢献している[0902k]。</p> <p>0902 国際交流に関しては、学科ごとの特性を活かし、様々な国や地域からの実習生、研修生受け入れ、インターンシップなどの海外研修を実施している[0902l][0902m][0902n][0902o]。</p> <p>0902 社会貢献の適切性や効果を各学科会議で点検、検証している。[0102a]</p> <p>0902 社会連携・社会貢献に関する取り組みが一部の教員に偏りがあることについて、改善のための検討が必要である。</p> <p>0902 地域交流・国際交流事業について、感染症蔓延状況が継続する中での次善策を検討する必要がある。</p>	
長所・特色	
<p>0902 積極的な学会活動、企業や研究所との共同研究、学外組織とのイベント共催を通じて、社会連携・社会貢献が十分になされている[0902a][0902b]。</p> <p>0902 CU-Robocon を WRO Japan 公式予選会として毎年開くことで地域貢献をしている[0902h]。</p> <p>0902 COC+事業、出前講義、小学生向け「ジュニアセミナー」、併設校への学生派遣など、学部の特性を生かした地域交流を活発に行っている[0902c][0902d][0902e][0902f][0902g][0902h][0902i][0902j]。</p> <p>0902 現在の航空機製造の現場を担う社会人に向けた「航空機産業製造人材育成講座」を開催し、地域に貢献している[0902k]。</p> <p>0902 国際交流に関しては、学科ごとの特性を活かし、様々な国や地域からの実習生、研修生受け入れ、インターンシップなどの海外研修を実施している[0902l][0902m][0902n][0902o]。</p> <p>0902 社会貢献の適切性や効果を各学科会議で点検、検証している。[0102a]</p>	
留意点	
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: right;">【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p style="text-align: right;">【B】・・・検討を要する事項</p>	
<p>0902 社会連携・社会貢献に関する取り組みが一部の教員に偏りがあることについて、改善のための検討が必要である。【B】</p> <p>0902 地域交流・国際交流事業について、感染症蔓延状況が継続する中での次善策を検討する必要がある。</p>	

【B】

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		
0902	P	模擬講義等	○
0902	q	地域貢献活動	○

ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学部
--------	-----

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評	
1120	2020 年度より Zoom にて工学部教授会を実施し、会議前にデジタル化した資料を全構成員に配信し、ペーパーレス化と新型コロナウイルス感染症対策を行っている。工学部教授会、入学者選抜委員会等は年度始めに年間開催日程を教授会で周知し、工学部教職員専用ホームページでも公開している。会議終了後に議事録を作成し、構成員に確認のうえ起案決裁を取っている。また、工学部教授会、各種委員会で必要に応じて教育研究活動の検証を行うとともに、適切に議事録を作成している[1120a]。
1120	2020 年度以降、工学部主任会の機能を教授会に統合し、組織としての透明性が向上され、より確実な情報伝達が可能となった[1120b]。
長所・特色	
1120	2020 年度より Zoom にて工学部教授会を実施し、会議前にデジタル化した資料を全構成員に配信し、ペーパーレス化と新型コロナウイルス感染症対策を行っている。工学部教授会、入学者選抜委員会等は年度始めに年間開催日程を教授会で周知し、工学部教職員専用ホームページでも公開している。会議終了後に議事録を作成し、構成員に確認のうえ起案決裁を取っている。また、工学部教授会、各種委員会で必要に応じて教育研究活動の検証を行うとともに、適切に議事録を作成している[1120a]。
1120	2020 年度以降、工学部主任会の機能を教授会に統合し、組織としての透明性が向上され、より確実な情報伝達が可能となった[1120b]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 1 部会)

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

評価対象組織	工学部
--------	-----

基準特	学長重点項目
-----	--------

総評	
特 03	アセスメント・ポリシーに基づき、学習成果を 3 つのポリシーを踏まえて機関 (大学全体) レベル、教育課程 (学部・学科) レベル、科目 (授業) レベルで検証・改善を行っている [特 03a]。
特 03	GPS-Academic や学びに関する調査結果を日常的に入手し、分析できる仕組みは存在しないが、大学から適宜提供されるアセスメントテスト、学生アンケート、学修動向関連資料等を検証し、学科会議等において注意すべき学生に関する情報共有、アセスメントテストの学生面談カルテを個々の学生の指導担当教員が保管し、面談、指導に利用し、ポートフォリオ入試における実習内容の変更などを実施している [特 03b] [特 03c] [特 03d]。
特 03	授業期間終了時にすべての学科専門科目について「学習達成度評価アンケート」を受講学生に対して実施し、卒業時には 4 年間の学修に対するアンケートを含む「卒業時アンケート」を実施し、それらの結果に基づいた改善への取り組みを行っている学科もある [0406g] [0406h]。
長所・特色	
特 03	アセスメント・ポリシーに基づき、学習成果を 3 つのポリシーを踏まえて機関 (大学全体) レベル、教育課程 (学部・学科) レベル、科目 (授業) レベルで検証・改善を行っている [特 03a]。
特 03	GPS-Academic や学びに関する調査結果を日常的に入手し、分析できる仕組みは存在しないが、大学から適宜提供されるアセスメントテスト、学生アンケート、学修動向関連資料等を検証し、学科会議等において注意すべき学生に関する情報共有、アセスメントテストの学生面談カルテを個々の学生の指導担当教員が保管し、面談、指導に利用し、ポートフォリオ入試における実習内容の変更などを実施している [特 03b] [特 03c] [特 03d]。
特 03	授業期間終了時にすべての学科専門科目について「学習達成度評価アンケート」を受講学生に対して実施し、卒業時には 4 年間の学修に対するアンケートを含む「卒業時アンケート」を実施し、それらの結果に基づいた改善への取り組みを行っている学科もある [0406g] [0406h]。
留意点	
*各項に留意点レベルを記入	
	【A】・・・緊急の改善を要する事項
	【B】・・・検討を要する事項
特になし。	

根拠資料 No.		ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称	提出区分
項目 No.	記号		

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管